

2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年10月31日
株式会社エンプラス
(東証プライム 6961)

目次

決算概況

- 2025年3月期 第2四半期 決算説明
- 2025年3月期 連結業績見通し

各事業の動向と事業戦略

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況

決算概況

2025年3月期 第2四半期損益実績（連結）

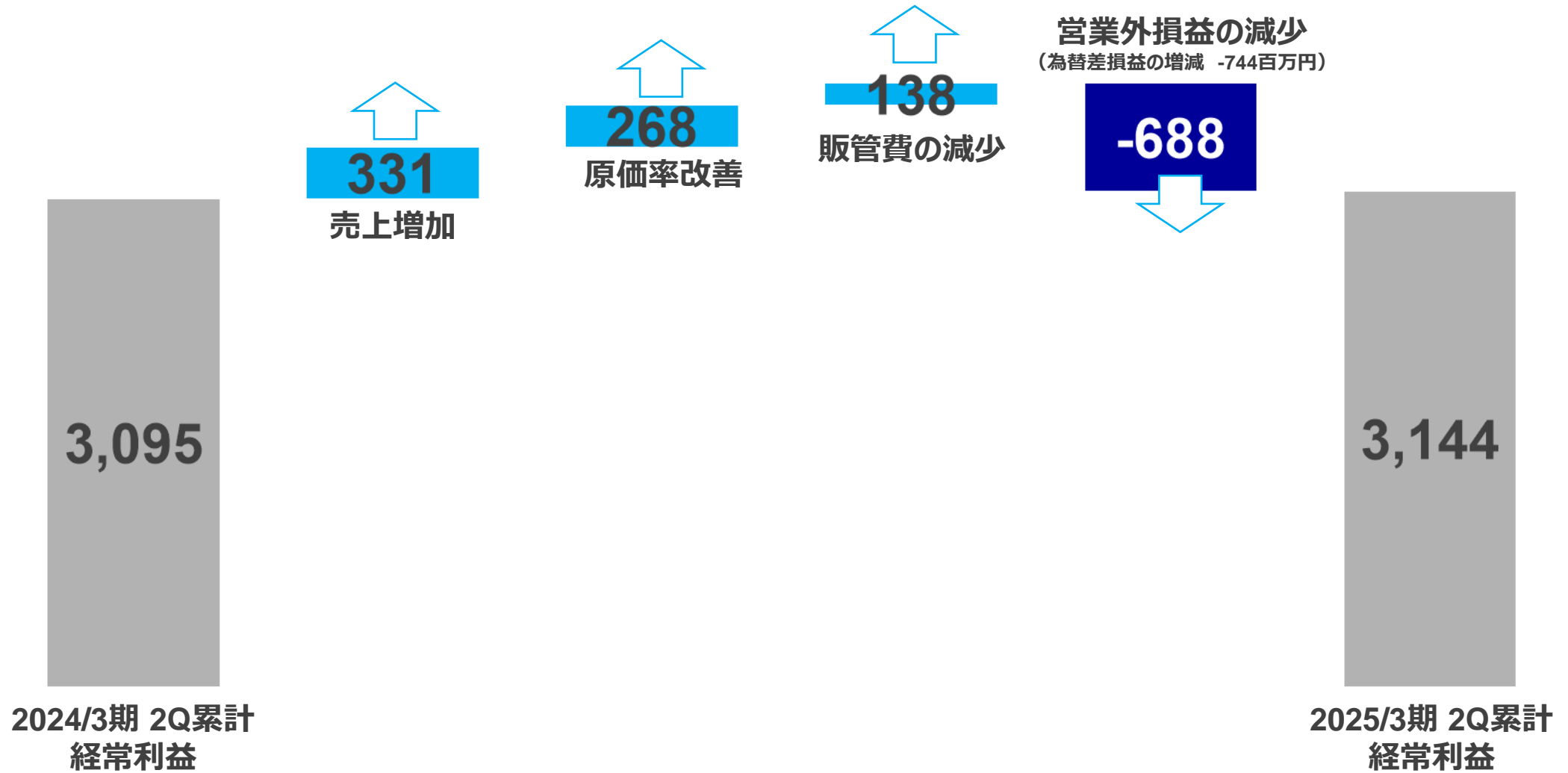
（単位：百万円）

	2024/3期 2Q累計実績	2025/3期 2Q累計実績	増減	(参考) 上期計画
売上高	19,200	19,700	+2.6%	20,000
売上原価率	53.6%	51.7%	-1.9pt	52.9%
営業利益	2,616	3,354	+28.2%	3,100
営業利益率	13.6%	17.0%	+3.4pt	15.5%
経常利益	3,095	3,144	+1.6%	3,300
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,798	2,094	+16.5%	2,200
1株当中間純利益	203.81円	237.19円	+33.38円	249.19円
期中平均レート（US\$）	141.31円	152.29円	+10.98円	(計画レート) 145.00円

為替感応度（US\$）：売上高 約200百万円/年、営業利益 約150百万円/年

経常利益の増減分析 <前2Q累計比>

(単位：百万円)



参考：セグメントの費用配賦の方針変更について

当連結会計年度より、事業セグメントの業績をより適切に反映させるため、研究開発費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

変更内容

- Life Scienceに含めていた新事業の研究開発費を売上比率により全セグメントに配賦

変更理由

- 2024/3期まではLife Scienceの事業領域を広く捉えていたため、新事業の研究開発費を全てLife Scienceに計上
- 2025/3期から、Life Scienceは手広く事業拡大を図るのではなく、分野を絞って収益性の確保へと方針転換
- 今後、新事業の研究開発はLife Science以外が増加することを見込んでおり、売上比率により全セグメントに配賦

2025年3月期 第2四半期セグメント別実績（連結）

（単位：百万円）

		2024/3期		2025/3期	方針変更後の 増減
		方針変更前の2Q累計	方針変更後の2Q累計	2Q累計実績	
Semiconductor	売上高	8,688	8,688	8,256	-5.0%
	売上原価率	52.4%	52.4%	50.4%	-2.0pt
	営業利益	1,250	1,083	1,022	-5.7%
Life Science	売上高	1,260	1,260	1,471	+16.7%
	売上原価率	62.9%	62.9%	56.1%	-6.8pt
	営業利益	-681	-337	196	-
Digital Communication	売上高	2,972	2,972	2,978	+0.2%
	売上原価率	22.6%	22.6%	20.8%	-1.8pt
	営業利益	1,643	1,586	1,703	+7.4%
Energy Saving Solution	売上高	6,279	6,279	6,995	+11.4%
	売上原価率	68.0%	68.0%	65.4%	-2.6pt
	営業利益	405	284	432	+51.9%

連結四半期損益実績推移

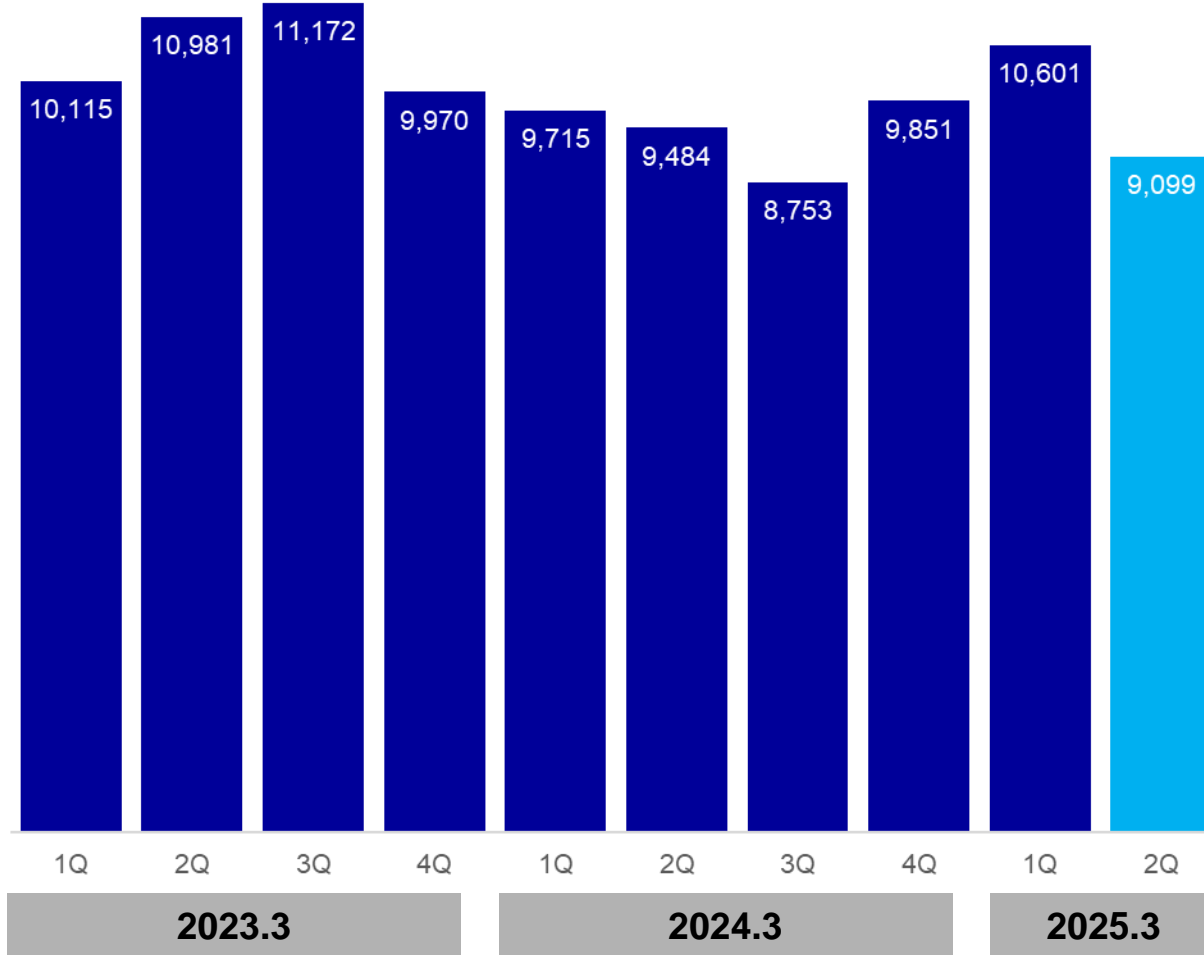
(単位：百万円)

	2024/3期			2025/3期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	9,484	8,753	9,851	10,601	9,099
売上原価率	53.9%	54.8%	58.1%	50.9%	52.7%
営業利益	1,204	938	1,090	2,153	1,200
営業利益率	12.7%	10.7%	11.1%	20.3%	13.2%
経常利益	1,414	775	1,392	2,334	810
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,062	485	1,159	1,518	576
1株当り四半期純利益	120.39円	54.98円	131.35円	172.00円	65.23円

連結四半期損益実績推移

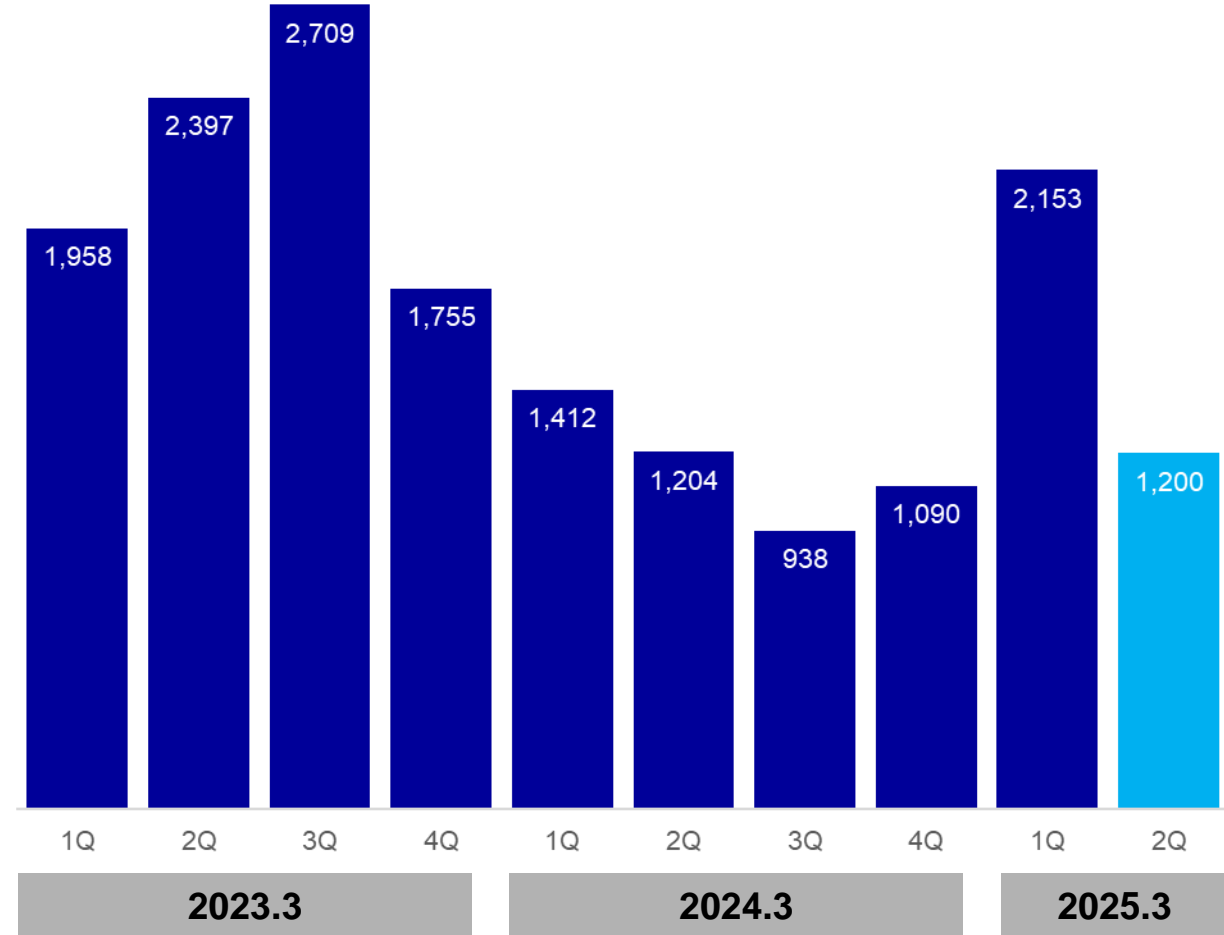
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



参考：セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位：百万円）

		2024/3期※			2025/3期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Semiconductor	売上高	4,013	3,422	4,566	4,570	3,686
	売上原価率	54.8%	56.5%	59.3%	49.8%	51.2%
	営業利益	320	40	336	719	302
Life Science	売上高	652	593	514	766	704
	売上原価率	62.0%	55.4%	58.1%	57.4%	54.7%
	営業利益	-155	-90	-125	115	80
Digital Communication	売上高	1,529	1,424	1,239	1,705	1,272
	売上原価率	21.8%	22.7%	23.4%	19.9%	22.1%
	営業利益	830	754	682	1,065	637
Energy Saving Solution	売上高	3,289	3,313	3,530	3,558	3,436
	売上原価率	66.1%	66.6%	68.6%	65.7%	65.2%
	営業利益	208	233	196	253	179

※2024/3期の営業利益は、研究開発費の配賦基準の見直し後の算定方法によるものです。

決算総括

2025年3月期 第2四半期 損益実績

- Semiconductor事業が低調に推移したものの、他セグメントは堅調に推移し、前年同期比で増収増益（売上高+2.6%、営業利益+28.2%、親会社株主に帰属する中間純利益+16.5%）

Semiconductor事業

- サーバー用途は汎用サーバー需要の回復遅れ、自動車用途は顧客の在庫調整により、減収
- 将来の成長に向けたテスト用ソケットに関する技術開発促進

Life Science事業

- 一部既存顧客からの受注の増加および新規量産品の立ち上げにより、増収
- 顧客の生産調整は長引く見通し

Digital Communication事業

- 光通信関連は、AI用途等において高いシェアを維持
- 顧客の次世代製品への移行を踏まえた在庫調整等により、1Q比では減収

Energy Saving Solution事業

- 自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、増収

決算総括

➤ 販売管理費

(単位：百万円)

2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	差異
6,298	6,159	-139

- 労務費 -151百万円
- 旅費交通費 -61百万円
- 研究開発費 +34百万円

➤ 営業外損益

(単位：百万円)

2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	差異
479	-210	-689

- 為替差損 396百万円 (2025/3期 1Q為替差益 78百万円、2024/3期 2Q累計 為替差益 348百万円)

➤ 特別損益

(単位：百万円)

2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計	差異
-333	-171	+162

- 2025/3期 2Q累計実績
- 事業再構築費用 232百万円

2025年3月期 連結業績見通し

2025年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

	2025/3期 2Q累計実績	2025/3期 通期
売上高	19,700	41,500
売上原価率	51.7%	53.2%
営業利益	3,354	6,600
営業利益率	17.0%	15.9%
経常利益	3,144	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,094	4,800
1株当り当期純利益	237.19円	543.69円
配当金	30.00円	60.00円

※2024年7月31日の業績見通しから変更してありません。

※事業計画レート (US\$) : 145.00円

2025年3月期 セグメント別売上見通し

(単位：百万円)

	2025/3期	2025/3期
	2Q累計実績	通期
Semiconductor	8,256	18,500
Life Science	1,471	2,800
Digital Communication	2,978	6,000
Energy Saving Solution	6,995	14,200

※2024年7月31日の業績見通しから変更していません。

参考：2025年3月期 設備投資・減価償却・研究開発の見通し

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期	2025/3期
	通期実績	2Q累計実績	通期
設 備 投 資	4,014	4,969	7,000
長期投資・環境投資	283	3,867	3,800
成長分野への投資	2,300	378	1,700
その他の設備投資	1,431	724	1,500
減 価 償 却	2,385	1,208	2,500
研 究 開 発	1,343	712	1,600

※2024年4月30日の業績見通しから変更していません。

【経営基本方針】
付加価値経営の徹底

【重点推進事項】

1. 顧客にとっての価値提供
2. 技術・技能・業務の競争力強化
3. スピード経営の実践

付加価値向上施策

- **AI、環境車等の成長領域での事業獲得**
- **高付加価値製品へのポートフォリオの入れ替え**
- **生産拠点の最適配置による収益力強化**
- **内製取り込みによる付加価値向上と為替対応力の強化**

各事業の動向と事業戦略

Semiconductor事業

市況

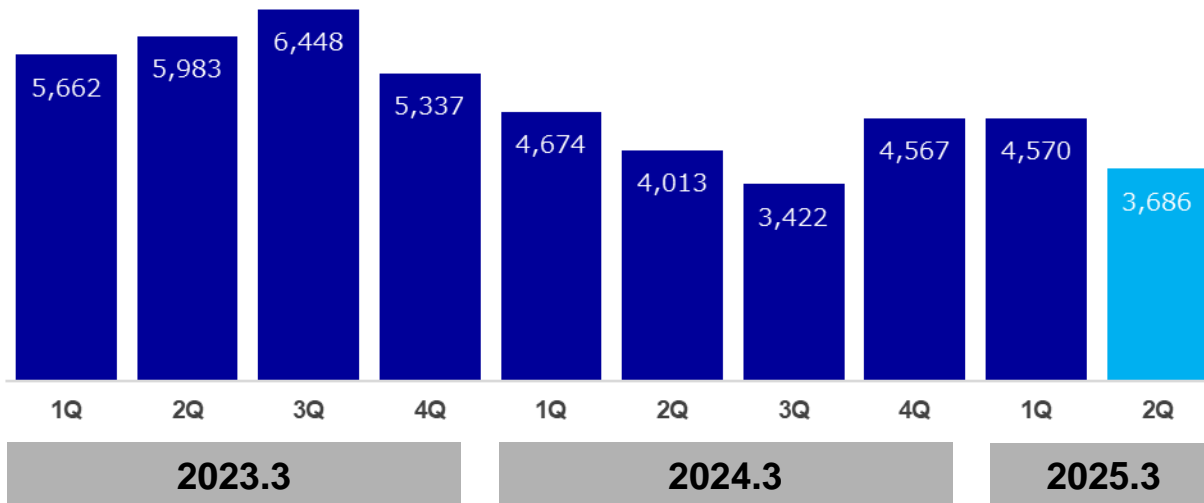
- 汎用サーバー、車載の市場低迷
- AIサーバー市況は活況

事業概況

- 高付加価値領域での事業獲得
- 将来の成長に備えた生産領域の能力強化と収益性向上

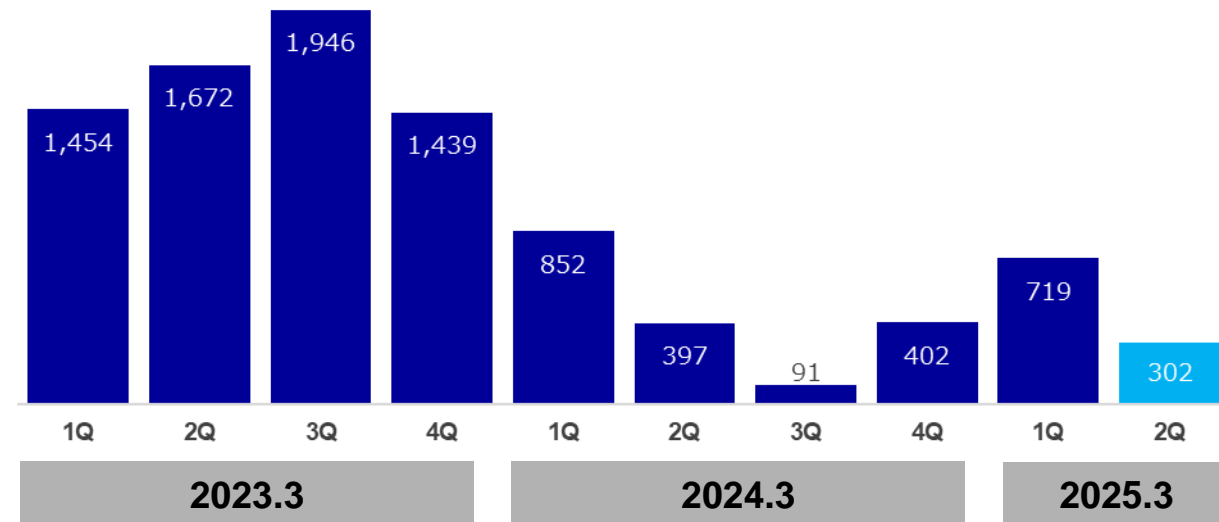
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Life Science事業

市況

- ハリケーン被災による米国サプライチェーンの混乱
- 遺伝子検査市場の低迷による在庫調整継続

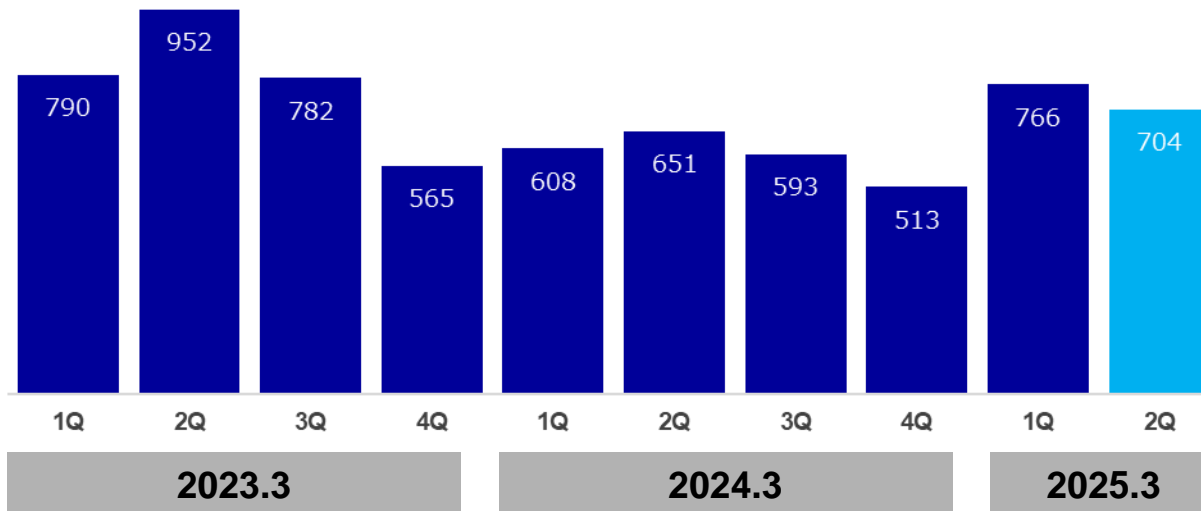
事業概況

- デジタルPCR※市場での競争力強化
- 事業の黒字化

※デジタルPCRは、核酸を分割・個別に増幅させることで、標的にした核酸が何個あるのかデジタルで絶対定量できる次世代PCR技術です。

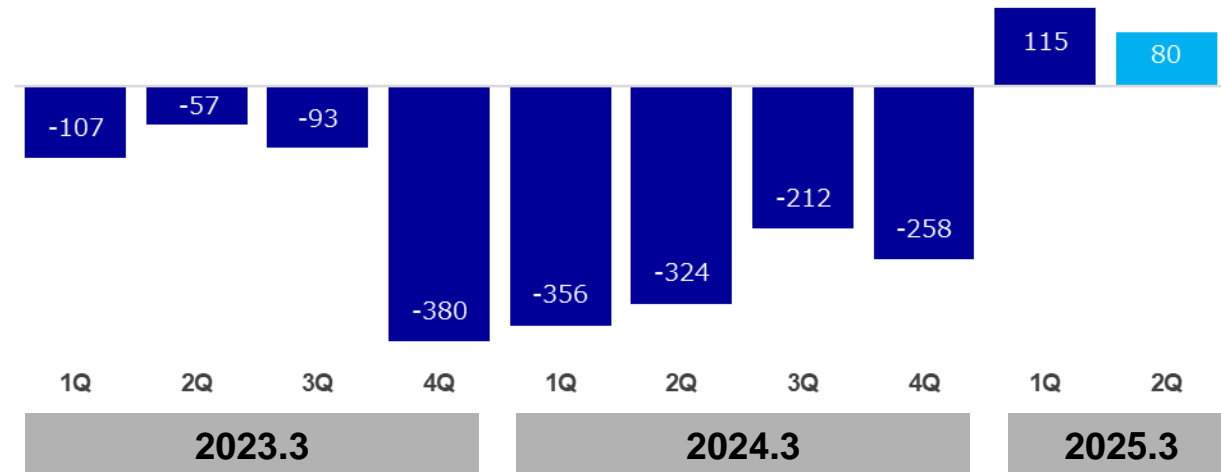
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Digital Communication事業

市況

- 1.6Tへの切り替えによる800G製品の在庫調整

事業概況

- 成長する生成AI市場での既存顧客の高シェア維持と新規顧客の獲得
- レーザー開発ロードマップに合わせた製品開発促進

1.6Tbpsのレンズを開発



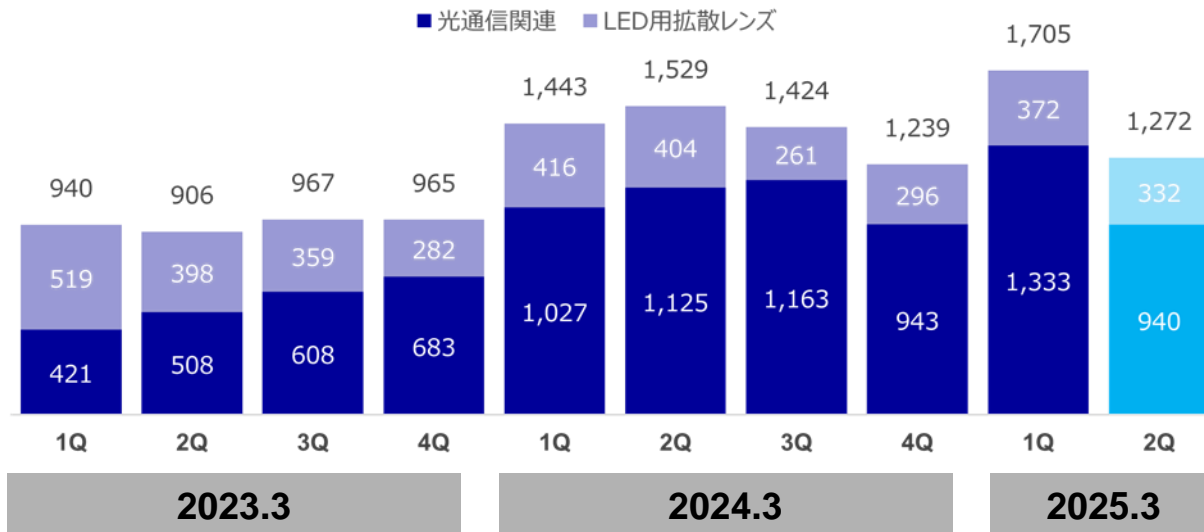
マルチモード向け開発品



シングルモード受信(Rx)側向け開発品

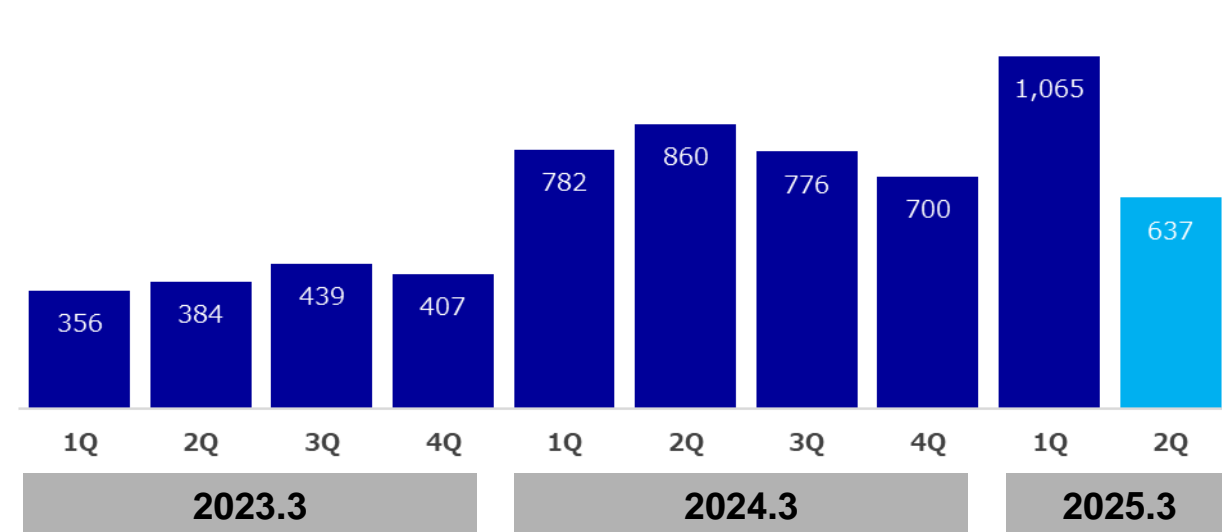
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Energy Saving Solution事業

市況

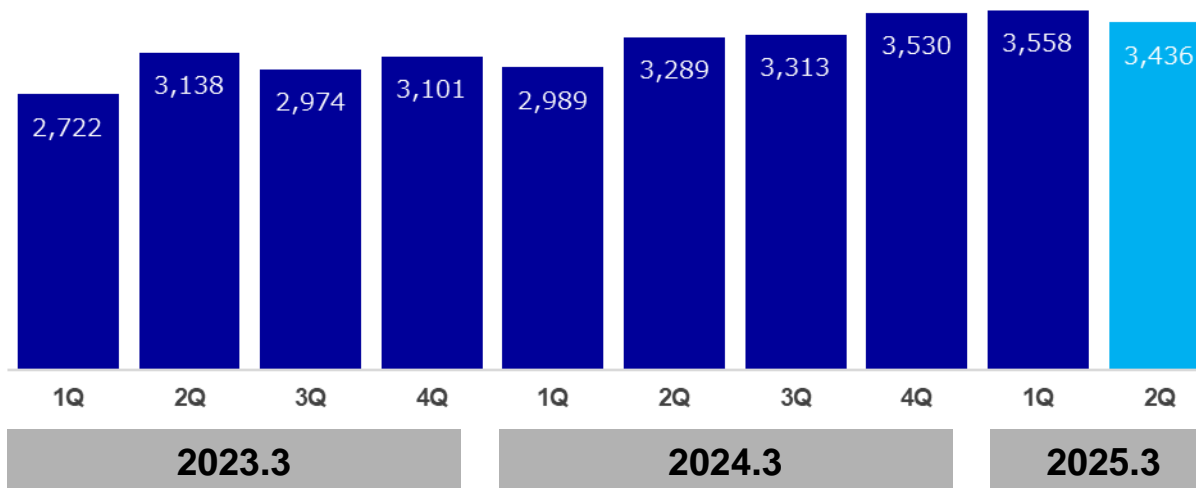
- 世界的な自動車生産の低迷

事業概況

- 成長が期待できる環境車需要への対応
- モノづくり領域の生産改革による収益性の向上

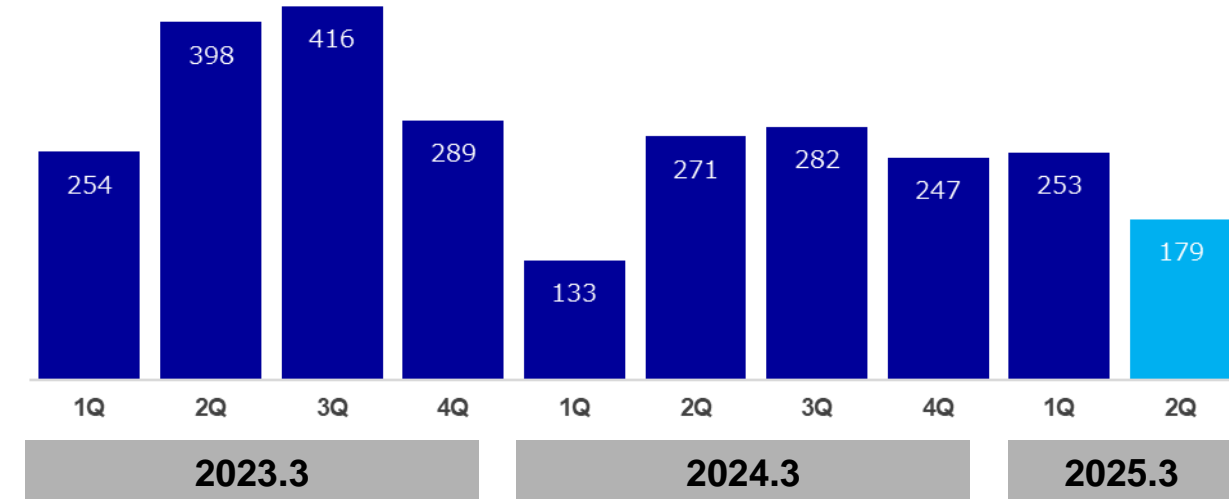
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



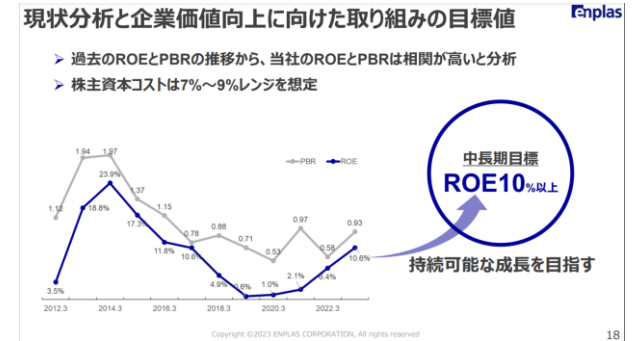
※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況

現状分析と企業価値向上に向けた取り組みの目標値

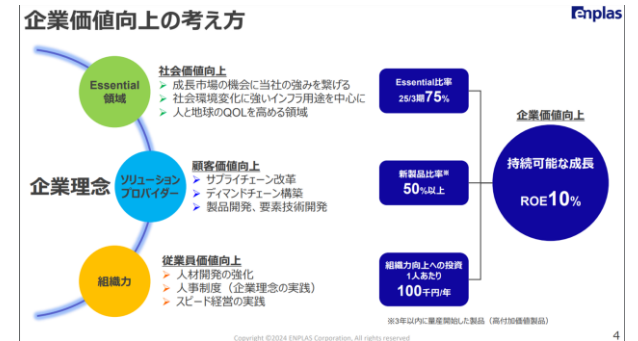
➤ 中長期目標 ROE10%



2023/7/28公表

企業価値向上の考え方

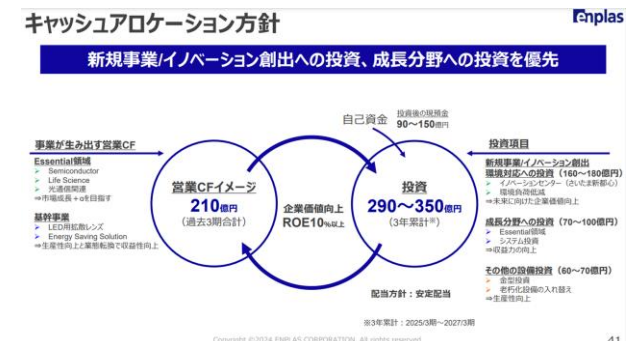
➤ 具体的な取り組みの進捗状況を報告（26ページ）



2023/7/28公表、2024/4/30更新

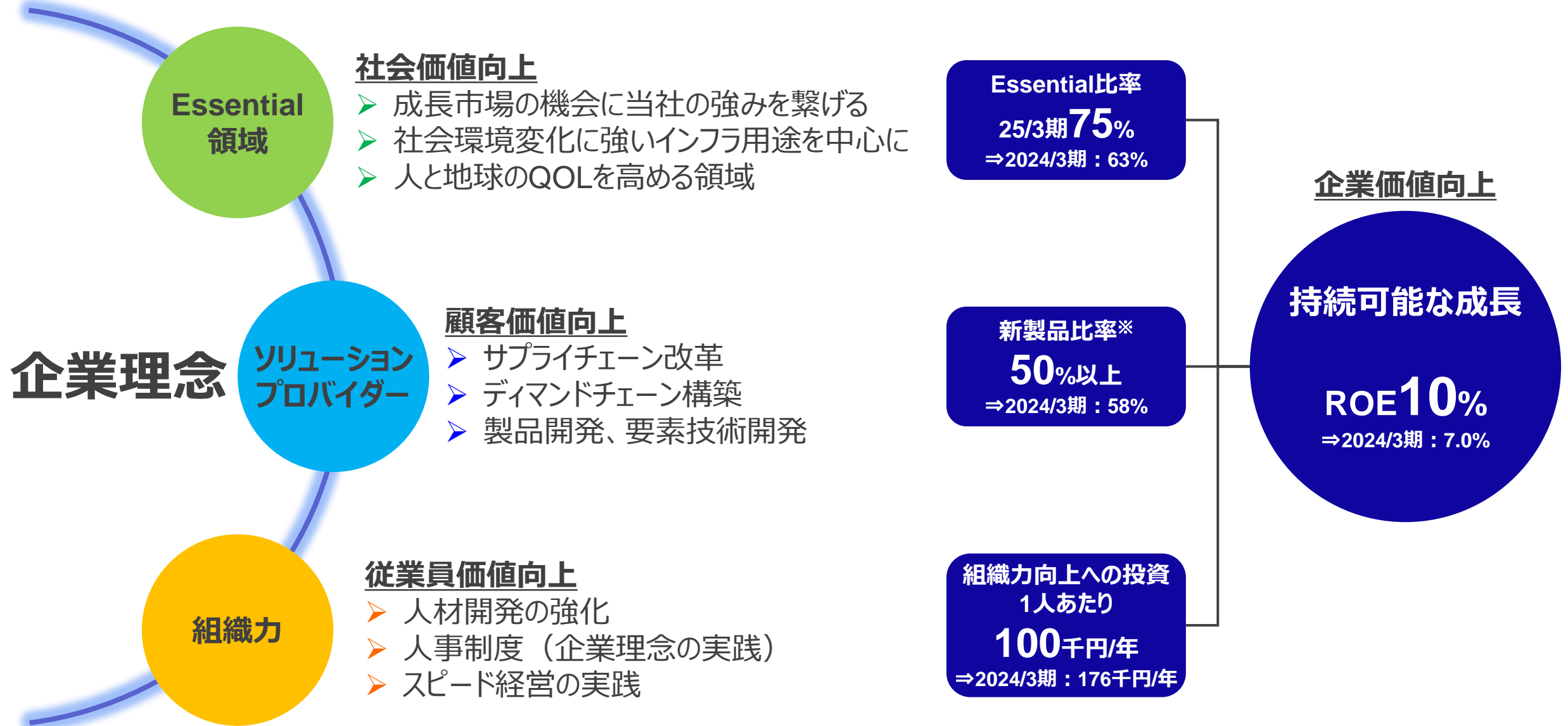
キャッシュアロケーション方針

➤ 2025/3期~2027/3期の投資の進捗状況を報告（27ページ）



2023/7/28公表、2024/4/30更新

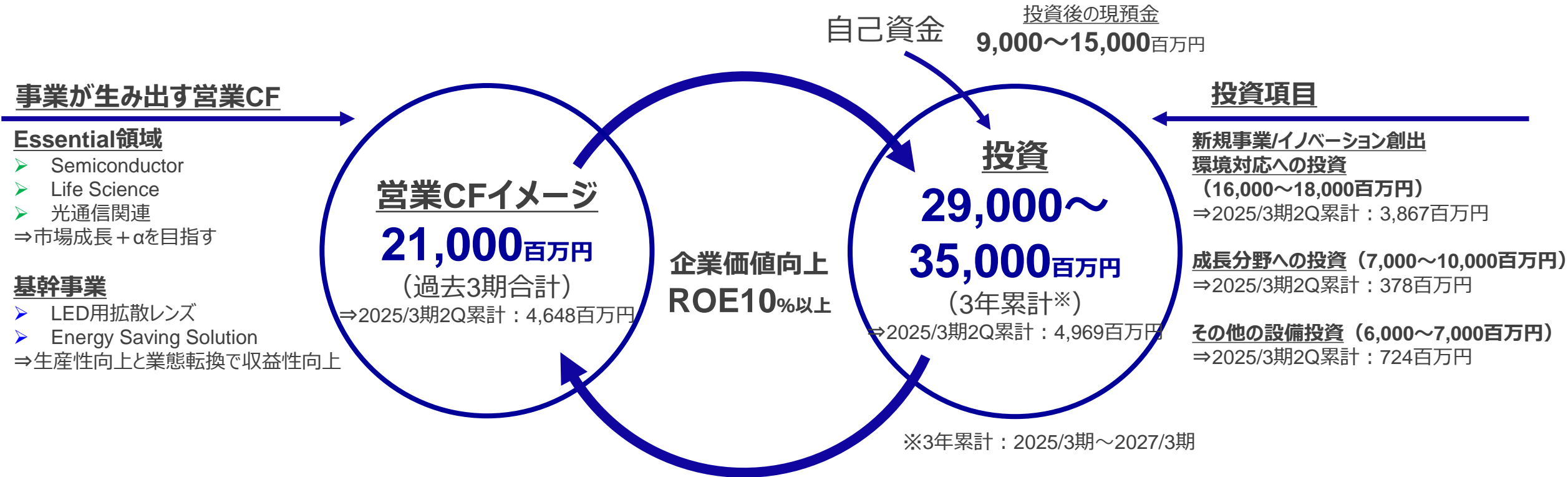
進捗状況：企業価値向上の考え方



※3年以内に量産開始した製品（高付加価値製品）

進捗状況：キャッシュアロケーション方針

新規事業/イノベーション創出への投資、成長分野への投資を優先



配当方針：安定配当（中間配当30円）
 ⇒上記投資の進捗状況を踏まえ、
 配当方針や自社株買いを含めて株主還元の見直しを行う予定

参考：新社屋の建設（イノベーションセンター）

- ・ソリューションプロバイダーへの業態転換
- ・Essential領域での持続的な価値創出
- ・新規性を追い求め続ける、企業文化の醸成

新社屋の概要

1. 顧客課題の解決に繋がる機能評価の実現

- ラボレイアウトの刷新による多様なテーマへの対応
- 人財およびインフラの集結による共創環境づくり

2. 職場の環境改善

- 多分野の知恵・技術・人から学びあい、幅広いプロジェクト経験による人財の成長
- BCPリスク、エネルギー使用量の低減
- 人財採用競争力の強化

3. 投資予定額

- 約15,000百万円



イメージパース

株式会社エンプラス 決算説明会

<https://www.enplas.co.jp/>

(東証プライム 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。